

長期的対策（1回量による入力） 実施医療機関からの報告-4

徳洲会大阪本部薬剤部 野村 浩子

2016.3.29

厚生労働科学研究

「内服薬処方せんに記載方法標準化の普及状況に関する研究」研究報告会

1回量入力 実施状況

徳洲会グループ（病院） 2016.3月現在

病院名	所在地	病床数	1回量標準年月	新規/移行
静内	北海道	199	2013年10月	新規導入時
与論	鹿児島県	81	2013年10月	新規導入時
瀬戸内	鹿児島県	60	2013年12月	新規導入時
山形	山形県	292	2014年03月	新規導入時
吹田	大阪府	365	2014年07月	新規導入時（新設）
沖永良部	鹿児島県	132	2015年03月	新規導入時
茅ヶ崎	神奈川県	132	2015年04月	新規導入時
名瀬	鹿児島県	260	2015年05月	1日量入力からの移行
武蔵野	東京都	210	2015年06月	新規導入時（新設）
生駒市立	奈良県	210	2015年06月	新規導入時（新設）
二日市	福岡県	52	2015年07月	新規導入時
成田富里	千葉県	285	2015年09月	新規導入時（新設）
札幌南青洲	北海道	88	2015年10月	新規導入時
東京西	東京都	486	2015年11月	1日量入力からの移行

医師【処方】

- ・ 1日 投与量
- ・ 何分割するか



薬剤	ポグリボース錠[0.2mg]	3錠
用法	分3 昼夕食後と眠前	2日分
薬剤	スロークー錠[600mg]	2錠
用法	分2 昼夕食後	2日分

患者さま【服薬】

- ・ 1回 にのむ量
- ・ 1日 何回



のみくすり

患者様 田山 太郎 様

1日2回 7日分

用法 分2 昼夕食後

1日2回 7日分


田山 太郎 様

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL: 03-1234-5678 FAX: 03-1234-5679

徳洲会グループ 徳洲会病院

薬剤師【調剤】




- 指示確認
1日量 / 分数
- 調剤、説明
1回量 / 回数

看護師【与薬】



- 指示確認
1日量 / 分数
- 与薬準備
服薬確認
1回量 / 回数



1日量 / 分
1回量 / 回

1日量 / 分
1回量 / 回

1回量 / 回

1回量 / 回

経緯

- ◇平成22（2010）年4月
JAHISの処方入力方法および画面遷移の標準化に関するWGが発足され、主だった電子カルテベンダーが参加し、仕様をまとめた（参加ベンダー：SSI、富士通、NEC、IBM、東芝、日立）
- ◇平成23（2011）年6月
WGの結果を元に、JAHISから処方オーダーシステムに関する共通化仕様ガイドラインが技術文書として公表される
- ◇平成23（2011）年11月、24年11月
医療情報学会で各社の進捗を発表
- ◇平成25（2013）年春頃
各社開発目途

- ・服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/dl/s101294a.pdf>
- ・処方オーダーシステムに関する共通化仕様ガイドライン（JAHIS）
<http://www.jahis.jp/wp-content/uploads/st11-102.pdf>

**J
A
H
I
S**

処方オーダーシステムに関する
共通化仕様ガイドライン

2011年 4月
一般社団法人 医療連携推進システム工業会
電子処方システム委員会

**標準化検討コンセプト
基本機能**
→ 長期的方策 を基準とする

- ・ 1回量入力
- ・ 1回量と1日量の併記
- ・ 標準用法マスタを採用

**標準化検討コンセプト
標準用法マスタ**

- ・ 標準用法マスタ を採用
- ・ 標準用法コード を実装
- ・ 施設独自用法は原則NG
→ 用法+コメント で対応

用法詳細区分の違いにより複数存在する用法を
整理し、導入時基本パッケージとして準備

2243 → 436

標準用法マスタは、原則全てシステム内に実装。
基本パッケージに含まれないものは、必要時に選択し、画面上表示可能な体制に。

**リプレース施設における
既存用法と標準用法の突合状況**

A病院の例

既存用法(内服のみ)

163 アンマッチ

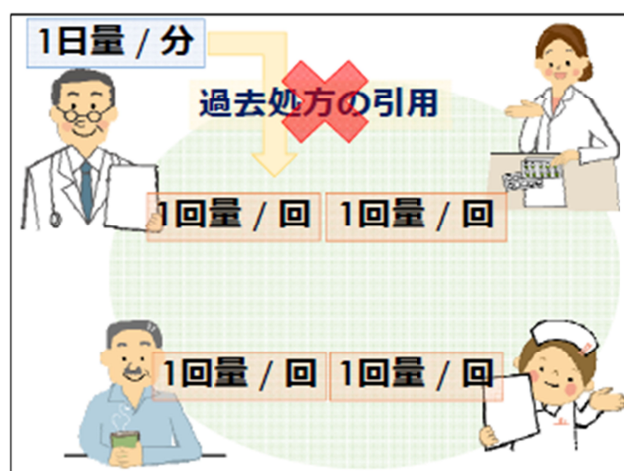
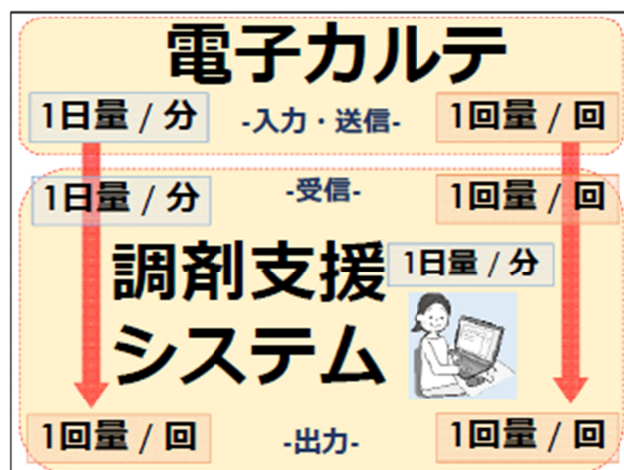
紐づけ不可 → **74 = 57 + 17** (直近1年未使用)

1日量入力・1回量入力 画面比較

1日量入力 | **1回量入力**

1日量入力画面: デフォルト値【40mg】

1回量入力画面: デフォルト値【40mg】



1日量の過去処方Do.支援機能

1回量入力へ変更するための画面を表示

修正後「x」が解除され
送信が可能に

元の1日量を参考に
1回量を入力

用法は手動で
置換え

過去処方 1日量

2015年09月29日 << >> 3錠 7日分

引用

今回処方 1回量

2015年10月06日 1回 1錠 (1日 3錠) 7日分

用法用量:自動置換/変換

平成27年(2015)5月

1日量⇒1回量移行

1日量/分 過去処方の引用

1回量/回 1回量/回

1回量/回 1回量/回

移行準備：初回移行導入時

導入までの予定

稼働3か月前 稼働2か月前 稼働1か月前

① ② ③ ④ ⑤

① 1回量環境の臨床試験：薬剤 (SE)
 ② マスター整備 (薬剤)
 ③ パス-テスト項目修正 (薬剤)
 ④ 設定変更 (SSU/ユビマ)
 ⑤ 医師操作説明 (薬剤)

⑥ 1回量環境の臨床試験：医師-研修等 (SE)
 ⑦ 医師テスト修正、3/11以降ユーザー入力 (医師)

※本図例、要はC2:ユビマ処方箋のレイアウト
 ※本図例のユビマ発行処方箋の表現
 薬品名 1日量 (1回量) ... [1回量処方]
 薬品名 1日量 () ... [1日量処方]

今後の展開を想定し
 移行準備3か月でパッケージ化

1日量/分 過去処方

1日量/分 研削システム

1回量/回

1回量/回

2016.3現在

1日量 1回量/分 1回量/回

1回量/回

医事会計 お薬手帳

